

第34回日本手術看護学会年次大会プログラム

2020年11月6日（金）12：00～19日（木）17：00 オンデマンド配信

ご挨拶

■大会長挨拶

日本手術看護学会北陸地区会長 石田 静恵

■理事長挨拶

日本手術看護学会理事長 石橋まゆみ

特別演題

■招待講演

アメリカにおける手術室看護師の役割と専門性 元 クイーンズメディカルセンター 地主（シントロン） 仁美

■特別講演

手術室の中での多様性を活かす組織マネジメント 京都大学大学院医学研究科 任 和子

■大会長講演

手術室運営を効率的に行うための多職種との協働 富山県済生会高岡病院 石田 静恵

■教育講演Ⅰ

手術室での新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策 医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院 渋谷 豊克

■教育講演Ⅱ

手術部位感染予防におけるガイドラインと実践 市立豊中病院 清水 潤三

■教育講演Ⅲ

チーム医療を円滑に進めるためのヒューマンスキル基礎力 株式会社ハートデザイン 中村 清美

■教育講演Ⅳ

低侵襲治療が進む中での周術期における安全管理対策
—医療事故情報収集等事業に報告された内視鏡手術の事例—

公益財団法人日本医療機能評価機構 井上 純子

■トピックスⅠ

術中麻酔管理特定行為研修制度開始により手術室看護師に期待すること

滋賀医科大学看護師特定行為研修センター 北川 裕利

■トピックスⅡ

手術室看護師のラテックスアレルギーおよび手荒れ対策

藤田医科大学ばんだね病院 矢上 晶子

■トピックスⅢ

JONA 災害情報システムの運用について

日本手術看護学会安全管理委員会 松本 亜矢

■トピックスⅣ

器械出し看護業務及び清潔野補助業務に係る教育構築プロジェクトの活動報告

日本手術看護学会学会あり方委員会 古島 幸江

■トピックスV

改訂版 手術室看護師のクリニカルリーダーの概要と活用について

日本手術看護学会クリニカルリーダープロジェクト 佐藤 澄子

■トピックスVI

手術看護の質評価の今後の展望

日本手術看護学会質の評価プロジェクト 木村 三香

真野 敏夫（札幌医科大学附属病院） 斉藤 美香（盛岡赤十字病院）

■シンポジウムI 特定行為研修制度の中における周術期医療の未来

司会：山本 千恵（公益財団法人倉敷中央病院）

S I-1. 「医師の働き方改革」と特定行為パッケージ —日本麻酔科学会が考える周術期管理研修—

群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学分野 齋藤 繁

S I-2. 特定行為研修制度の中における周術期医療の未来

—手術部管理者の立場から—

福井大学医学部附属病院手術部 小久保安朗

S I-3. 特定行為研修制度の活用と看護師の働き方

公益社団法人日本看護協会 荒木 暁子

S I-4. 特定行為研修制度の中における周術期医療の未来 —看護管理者の立場から考えること—

長野赤十字病院 ミルズしげ子

S I-5. 麻酔領域における特定看護師の役割

—今後の展望と課題 実践者の立場から—

滋賀医科大学麻酔科 山下 祐貴

■シンポジウムII 周術期管理チームに必要な多職種連携と看護記録

司会：後藤 紀久（岐阜大学医学部附属病院）

S II-1. 周術期管理チームに必要な多職種連携と記録について

社会福祉法人恩賜財団済生会石川県済生会金沢病院 北川カズ美

S II-2. 周術期における多職種連携と記録 —継続した支援の提供を目指して—

岩手医科大学附属病院周術期サポートセンター 島崎由希子

S II-3. 円滑な多職種協働に資する手術看護記録とは

やわたメディカルセンター 中島和香子

S II-4. 周術期管理チームにおける理学療法士としての情報共有と記録

岡山大学病院総合リハビリテーション部 福田 智美

S II-5. 術前からの栄養障害を見逃さず、入院後につなげるために

倉敷中央病院栄養治療部 高瀬 綾子

■シンポジウムIII 手術室におけるワークライフバランス

司会：佐藤 裕子（東北大学病院）

S III-1. 手術室で働き続けられる勤務体制への取り組み

社会医療法人愛仁会明石医療センター 杉田扶希子

S III-2. 育児短時間勤務から始まった手術室看護

金沢大学附属病院 松田 久美

S III-3. 私のワークライフバランス

富山県済生会高岡病院 木元 礼子

S III-4. 手術室看護師として働き続けることの喜び

愛媛十全医療学院附属病院 栗田 衛

■教育セミナー

手術室で行う新型コロナウイルス対策

—「手術室での新型コロナウイルス感染症対策ガイド」に沿っての実際—

公立能登総合病院 北原 雅恵

■研究倫理研修

司会：木村 三香（日本手術看護学会倫理審査委員会）

倫理性と科学性を担保する研究計画書の書き方 —研究倫理審査申請時のポイントその2—

中村 裕美・坂本 文子（日本手術看護学会研究倫理審査委員会）

蒔田 覚（蒔田法律事務所）

佐藤 弘之（東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野）

酒井美絵子（武蔵野大学看護学部）

菊地 京子（元東京女子医科大学認定看護師教育センター）

蒲原 一夫（株式会社東京医学社）

各種報告会

■中堅者教育研修受講者報告会

1. 2～3年目看護師が学生指導を行い、やりがいや成長を自覚できるための働きかけ
地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 鴨井和歌子
2. 器械準備時間短縮に向けた取り組み
熊本赤十字病院 山室 縁
3. A病院における術前訪問導入に向けた取り組み
—問題解決技法, ロジックツリー MECE 分析を用いて— 公益財団法人丹後中央病院 中川 侑記
4. 手術室における災害訓練の実践 —アクションカードの作成と導入— 福井県立病院 岩本 裕子
5. 術前・術後訪問実施定着への取り組み —勉強会を取り入れた意識改革— 大津赤十字病院 岩崎 昌美

■手術看護管理研修受講者報告会

1. 自立した看護師の育成に向けた取り組み 東京医科歯科大学医学部附属病院 山崎 睦子
2. 開心術の教育に対する取り組み 明理会中央総合病院 安西 桂子
3. 手術看護職員の学習意欲向上への取り組み 国民健康保険小松市民病院 宮本 雅美
4. 手術安全チェックリスト遵守率向上を目指して 順天堂大学附属静岡病院 藤本ゆうこ
5. 診療科別エキスパート看護師の継続的育成にむけた取り組み 砂川市立病院 江崎夕香里
6. 術前・術後訪問率向上への取り組み 独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院 朝倉 由紀
7. 周期期皮膚障害・神経障害予防のための総合的分析評価及び取り組みの報告と
教育的介入の振り返り 国立がん研究センター中央病院 軽部 幸子

■手術看護実践指導看護師活動報告会

1. JONAⅢの活動を支えるフォローアップ 日本手術看護学会学会認定制度委員会
自治医科大学 古島 幸江
2. 本学会認定制度の仕組みや支援体制 昭和大学 山口 紀子
3. 日本手術看護学会が手術看護実践指導看護師に期待する役割 公益財団法人倉敷中央病院 山本 千恵
4. 手術室管理者が手術看護実践指導看護師に期待する役割 群馬大学医学部附属病院 齋藤 洋子

■手術看護認定看護師看護実践報告

- あなたの手術看護を BEST PRACTICE につなげよう
- チームで対応した認定看護師の調整力と実践思考：多職種連携編 日本手術看護学会認定看護師委員会
- 術後におけるコンパートメント症候群への予防対策
- 多職種カンファレンスを通して— 小牧市民病院 杉林 保幸
- COVID-19で多職種が連携した対策と問題点について
- 当院の現状を踏まえて— 愛媛県立中央病院 渡部 早人

次期年次大会案内・大会長挨拶

■第35回年次大会案内・大会長挨拶

日本手術看護学会四国地区会長 今井恵美子